

飛天双 〇能



「飛天双〇能（ひてんふたわのう）」とは

30年前に大倉正之助が開催した12年一巡りの飛天双〇能が始まりで、この度2023年1月8日に滋賀県・多賀大社より再開しました。再開した飛天双〇能は神社仏閣などの野外能舞台もしくは組立舞台に於いて、1年に1回能楽奉納を行う計画です。2024年は復元した御囃子道具、舞台造り花を制作して能楽奉納をさせていただく予定です。

飛天双〇能 特別企画
おかげ横丁
に在る 五十鈴塾 6講座

2024年2月5日(月)～7日(水)

飛天双〇能シンポジウム

2024年2月7日(水)

伊勢市内の五十鈴塾でワークショップを開催いたします。ぜひご参加ください。

2月5日(月) 13:00～14:30

三重県伝統の現状

伊勢の工芸である伊勢和紙(和紙)、伊勢麻(大麻)に携わる皆様を迎えて、伝統工芸の現在を聴き、地域に在る伝統工芸の実態を紐解きます。伝統を未来へむかう担い手のお話は、現代を生きる我々の手がかりとなるのではないのでしょうか。

参加費 一般 3,000円 五十鈴塾会員 2,500円

※30歳以下は無料

聞き手 大倉正之助(能楽師・重要無形文化財総合指定保持者・一般財団法人令和和文化蔵代表理事)

2月5日(月) 15:30～17:00

神宮と芸能

天照大神が長旅を終えて五十鈴の川上に鎮まれた喜びの日、終夜に及ぶ宴楽歌舞がなされたと『倭姫命世記』は伝えています。川のせせらぎが奏でる清涼の響きと森蔵の場での祝宴は、きっと人々の心を魅了したでしょう。神宮と芸能との関係は、神事儀礼の面と、人々が大神への奉賛・奉納として心を形にされる面があります。後者の、伊勢猿楽三座、謡曲「絵馬」、近隣神社の獅子舞・翁舞などを中心にお話したいと思います。

参加費 一般 3,000円 五十鈴塾会員 2,500円

※30歳以下は無料

講師 櫻井治男(皇學館大学名誉教授)

2月6日(火) 15:30～17:00

天照大神と倭姫の巡幸の旅を辿る

天照大神と倭姫の長き巡幸は、多くの奇跡と謎に包まれています。しかし、このロングジャーニーは伊勢神宮の創建と大和王権の建国に深く関わっています。日本書紀、倭姫命世記などを紐解きながら、巡幸の秘められた意味を探ってみましょう。

参加費 一般 3,000円 五十鈴塾会員 2,500円

※30歳以下は無料

講師 池田雅之(早稲田大学名誉教授・比較文化論・翻訳家・一般財団法人令和和文化蔵理事)



能楽奉納解説

「翁」「高砂」「簀」「羽衣」「三輪」「石橋」を能楽師ワキ方・安田登が3回にわけて解説します。

各日時

■ 2月5日(月) 18:00～19:00 「翁」・「高砂」

■ 2月6日(火) 18:00～19:00 「簀」・「羽衣」

■ 2月7日(水) 18:00～19:00 「三輪」・「石橋」

参加費(各回) 一般 3,000円
五十鈴塾会員 2,500円

※30歳以下は無料

講師 安田 登(能楽師)

申し込み先

「五十鈴塾」公益財団法人伊勢文化会議所五十鈴塾事務局

①電話受付 0596-20-8251

②五十鈴塾のホームページ <https://isuzujuku.org>

五十鈴塾のホームページでは講座詳細やお席の情報などがご覧になれます



飛天双〇能シンポジウム 2024年2月7日(水)

“私たちの現在は、未来にとってどういう時代なのでしょう”

飛天双〇能が能楽奉納を行う理由

奉納前日に於いて「伝統的なものづくり」と「奉納文化」の理解を深めるためシンポジウムを開催致します。

2部制にて多方面の専門家より現在の伝承技術継承の実際の話进行試みです。昨今滞りや失いつつある何かを感じている者たちが伊勢の地に集い、いま消えそうにあるものを浮かび上げてみる事により、私たちが今後どのように生き進めるかの手掛かりをみつける事が目的です。

このシンポジウムは古い時代は良かったという懐古主義ではないのです。私たちに古来より奥底に染み付いているDNAは今でも存在しているのか否かを試されている気がしてなりません。多様な皆様と共に伊勢の飛天双〇能奉納を通して、生活・伝承文化を強く深く、未来へ継承の一助となりますれば幸いです。皆様のご参加をお待ちします。



第一部

伝統ものづくりの現場

13:00～14:10 (70分)

参加者(予定)

調紐職人、木地師、皮職人、染料農家、麻織姫、麻農家、他

第二部

奉納から読み解く日本文化 (進行・大倉正之助)

14:20～15:30 (70分)

参加者(予定) 五十音順

荒木泰恵(東京藝術大学美術学部附属古美術研究施設 助教)

池田雅之(早稲田大学 名誉教授)

音羽 悟(神宮司廳 神宮参事)

柿坂神酒之祐(天河大辨財天社 名誉宮司)

加藤良次(横浜美術大学 学部長)

九鬼家隆(熊野本宮大社 宮司)

後藤俊彦(高千穂神社 宮司)

佐伯康人(シゼンタイ 代表)

中野幸彦(多賀大社 名誉宮司)

宮本 孝(開成山大神宮 宮司)

予定

能楽師紹介・ゲスト紹介 16:00～16:30 (30分)

交流会 16:30～17:30 (60分)

日程 2024年2月7日(水)

時間 12:00開場、13:00開会、17:30閉会

場所 伊勢市 神宮会館内 大講堂

(住所：三重県伊勢市宇治中之切町152)

展示

奉納に使う復元品(材料)、能面(伊庭貞一作)

展示頒布予定

麻製品、絹製品、紙製品、

飛天双〇能コラボレーション品

無償体験ブース

[YOKUNARU] 90年の歴史・高電位療法

参加費 販売予定席数600席

奉賛会員 4,000円(当日入場5,000円)

一般 5,000円(当日入場6,000円)

大学生以下 無料

シンポジウムの事前参加申し込みはこちら

※当日入場は若干のお席の用意があります



“直会(なおらい)”

祭祀のため行った斎戒を解き“直会(なおらい)”によって、奉賛者、奉納者、演者、参列者と共に能楽奉納の神饌を分かち合うふるまいの時間です。温かなスペースにてくつろぎください。そして…、次年度の飛天双〇能にむけて。どうぞご参加ください。

内 容 能楽師からのご挨拶。職人からのご挨拶。
交流会(参加者たちとの写真撮影など)

日 程 2024年2月8日(木)

時 間 16:00～18:00

会 場 伊勢市内 神宮会館ラウンジ(予約必)

参加費 飛天双〇能 奉賛会員 2,000円(お弁当代)
一般 10,000円(お弁当込み)

直会の参加申し込みはこちら



シンポジウム、能楽奉納、直会のお問い合わせ

飛天双〇能 実行委員会 info@hitenfutawanoh.jp

協賛 順不同

社団法人日本文化伝承協会

IQAS 株式会社 IQAS

株式会社 RYOGA

株式会社 トリニティ



株式会社 ボルボレッタ



株式会社 バルコム



三重交通グループホールディングス株式会社



ホテル・アアルト株式会社



株式会社 赤福



株式会社 立花商店

ありがとう。50周年です。

株式会社 イシハラ コーポレーション

一般社団法人 フォースウェルネス

後援 順不同

伊勢市 伊勢市教育委員会 一般財団法人伊勢伝統工芸保存協会
伊勢商工会議所 公益社団法人伊勢市観光協会 伊勢新聞社
中日新聞社 三重テレビ放送

[後援予定] 三重県 三重県教育委員会

伊勢への旅

飛天双〇能 能楽奉納 & 各々プログラムにお出かけくださる皆様へ、伊勢への“旅の窓口”を開設致しました。宿泊先等のご相談は下記までご連絡ください。伊勢市内のタクシー事情もあり、2月7・8日の会場とホテル間の送迎バス(有料)の準備もしています。問い合わせください。

伊勢への旅の申し込み、お問い合わせ

三重交通南勢旅行支店

〒516-0016 三重県伊勢市神田久志本町 1509-4

TEL 0596-24-3101 FAX 0596-24-3157

飛天双〇能窓口 担当: 室田、小西

奉賛会員の募集

飛天双〇能では年1回12年に及ぶ能楽奉納を開催する計画をしています。引き続き企画意図にご賛同くださる方を募っております。奉賛会員の申し込みをお待ちします。

奉賛会員の申し込み、資料の問い合わせ

飛天双〇能 実行委員会 info@hitenfutawanoh.jp

一般財団法人 令和文化蔵 飛天双〇能事業

一般財団法人 令和文化蔵

本部 京都市左京区南禅寺北ノ坊町10番地2

事務局 神奈川県三浦郡葉山町492-1

電話 046-894-5097

mail info@hitenfutawanoh.jp

企画 大倉正之助

主催 一般財団法人 令和文化蔵

協力 飛天双〇能実行委員会 飛天双〇能伊勢実行委員会



飛天双〇能
Website



飛天双〇能
facebook



飛天双〇能
X



令和文化蔵
Website



令和文化蔵
公式 LINE



大倉正之助
ブログ